

平成28年度 東京都立桜修館中等教育学校の適性検査問題の出題の基本方針等

1 出題の基本方針

- (1) 小学校で学習した内容を基にして、思考・判断・表現する力をみる。
- (2) 与えられた課題の条件を整理し、論理的に筋道を立てて考える力をみる。
- (3) 身近な生活を題材としてその中にある課題を自分の経験や知識で分析し、考えや意見を的確に表現する力をみる。
- (4) 適性検査Ⅰについては、(1)、(2)、(3)に加え、意欲的な態度をみる。

2 適性検査問題の出題の方針、問題の構成及び主なねらい

出題の基本方針を踏まえ、以下のとおり適性検査Ⅰ及び適性検査Ⅱを実施する。

適性検査Ⅰ（45分）

- (1) 出題の方針
身近な題材の中から課題を見つけ、情報を整理し、自分の考えや意見を正しく表現し、的確に文章にまとめる力をみるとともに、意欲的な態度をみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 「やじろべえ」の資料から、考えたことを600字以内で文章にまとめ、論理的に表現する力をみる。

適性検査Ⅱ（45分）

- (1) 出題の方針
資料から情報を読み取り、課題に対して思考・判断する力、論理的に考察・処理する力、的確に表現する力などをみる。
- (2) 問題の構成及び主なねらい
 - ・ 大問を3問とし、小問9問で構成する。
 - ・ 小学校でのお楽しみ会の準備を題材とし、与えられた条件から適切な縮尺を計算する力や、花だんに植えられた球根の場所を論理的に導き出す力をみる。また、与えられた情報を読み取り、受付係が1人でも、お客さんを待たせずに、受付ができるようになる時刻を論理的に導き出す力などをみる。
 - ・ 世界遺産を題材とし、複数の資料（図表や地図など）から読み取った情報を関連付けて、時系列、空間の広がりから考察し、表現する力をみる。
 - ・ チョウを題材とし、資料を読み解き推察する力、実験結果を分析し考察する力、それらを的確に表現する力、課題を総合的に解決する思考力、判断力をみる。